

[検索一覧画面へ戻る](#)

総件数：2件

No.	発行日	朝夕刊	面名	ページ	文字数
00002	1994年10月24日	朝刊	オピニオン	005	01329文字

ゴミの世界が大きく変わる（社説）

びん、缶、プラスチックのいれ物などあらゆる包装や容器の廃棄物について、業者に引き取り責任を負わせ、再生利用させる方針を厚生省が打ち出した。廃棄物行政の大転換である。

私たちの暮らしから自治体のゴミ収集、企業の生産まで、幅広く影響が及ぶ。しかし、深刻なゴミ問題を乗り切るため、みんなが新たな役割を担う時代になった、と考えよう。

包装・容器類は、家庭から出るゴミのうち、容積で約六割、重さで約三割を占め、その割合は高まる一方だ。使い捨てが増え、こうした資源ゴミのリサイクル率は、まだ約三%に過ぎない。

資源を有効に利用し、ゴミを減らすために、厚生省の新方針は支持できる。

この方針の根底には、ゴミ処理についての新しい考え方がある。

いまのようにゴミを税金で処理するやり方では、企業は処理費にお構いなく商品を開発する。しかし、処理のコストが企業の負担となると、話が変わってくる。商品開発の段階から、ゴミになる量が少なく、ゴミになったときには、再生利用しやすい素材を使おうとする。つまり、ゴミ抑制に、経済原理を働かせようというわけだ。

ドイツやフランスでは、この制度を採用した結果、包装が簡単になったり、素材が再生利用しにくいプラスチックから紙に転換するなどの効果をあげている。

しかし、そのための負担がなかなか大変なことも覚悟しておきたい。

消費者はガラス、金属、プラスチック、紙を分けて捨てなければならなくなる。一部の自治体では分別が行われているが、いっそう徹底することが必要になる。

たとえば豆腐の容器を、生ゴミと一緒に捨てるわけにはいかなくなる。路上や空き地に専用のゴミ箱が置ける市町村はいいが、過密な大都市では、収集日まで家の中で別々に保管することになりそうだ。

自治体では、全体としてゴミの量は減るものの、きめ細かな分別収集のために経費がかさむだろう。

業者の負担も重い。ビール会社から豆腐屋さんまで、内容物をつくる業者は、空き缶や容器を引き取らねばならない。自らができなければ、新たに設立が検討されてい

る第三者機関に代行してもらい、所定の料金を支払うことになる。

こうした追加的なコストは、消費税のように価格に転嫁もできる。だが、いまの厳しい価格競争のもとでは、業者がかぶらざるをえなくなるかもしれない。関係する業者は多く、大きな変革に戸惑うことも多いだろう。

しかし、社会全体でゴミに取り組まなければならなくなっている。メーカーは物をつくりさえすればいい、消費者はゴミは捨てればいい、自治体は処分しさえすればいい、という時代ではない。みんなで地球環境を守り、資源を大切にしたい。

厚生省は、次の通常国会に法案を提出する予定という。だが、せっかく仕組みをつくっても、国民の理解と協力がなければ機能しない。消費者の手間が少なくてすむ分別収集の検討や、資源の再生技術の開発に国として力を入れるべきだ。

新制度のかなめは、引き取りなどを代行する第三者機関である。組織の性格や運営方針を決めるにあたって、官主導でなく民間の声に耳を傾けなくてはいけない。

押し付けでなく、国民や企業がこぞって参加するゴミのリサイクルシステム実現に向けて、論議を深めてゆきたい。

▲ 前の記事 | ▲ 最初の記事

[このページのTOPへ](#)

[検索一覧画面へ戻る](#)

ライブラリー及びその収録記事・画像等は、日本の著作権法並びに国際条約により保護されていまいとなく著作物を利用できる著作権法上の例外的なケースを除き、収録記事・画像等を本サービスにて無断で複製、公衆送信、翻訳、翻案、配布、販売等を行うことはできません。その他、朝日新聞の一切の利用をお断りします。→「[「聞蔵 著作権について」](#)はこちら

mbun Company. Allrights reserved. Noreproduction or republication without written permission.

ゴミの世界が大きく変わる

びん、缶、プラスチックのいれ物など、あらゆる種類の廃物について、業者が回収し、再利用する。その場合は高い一方で、使い捨てが増え、資源を大量に消費する。そこで、資源のリサイクルは、重要な課題となっている。

私たちが暮らす社会は、資源を大量に消費し、廃物を大量に排出している。その結果、地球環境は深刻なダメージを受けている。資源のリサイクルは、地球環境を守るために不可欠な取り組みである。

これは、資源の回収と再利用に関する取り組みを指している。資源のリサイクルは、地球環境を守るために不可欠な取り組みである。資源のリサイクルは、地球環境を守るために不可欠な取り組みである。

資源のリサイクルは、地球環境を守るために不可欠な取り組みである。資源のリサイクルは、地球環境を守るために不可欠な取り組みである。資源のリサイクルは、地球環境を守るために不可欠な取り組みである。

資源のリサイクルは、地球環境を守るために不可欠な取り組みである。資源のリサイクルは、地球環境を守るために不可欠な取り組みである。資源のリサイクルは、地球環境を守るために不可欠な取り組みである。

資源のリサイクルは、地球環境を守るために不可欠な取り組みである。資源のリサイクルは、地球環境を守るために不可欠な取り組みである。資源のリサイクルは、地球環境を守るために不可欠な取り組みである。